

事業番号	10 05 02	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室
			実施期間	H16～	E-mail	choju@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性、観光消費額					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<b>【現 状】</b> ・野生鳥獣による農林業等への被害は9年連続して減少しているが、依然として深刻な状態である。(H29年度農林業被害額8億3千6百万円) ・ニホンジカの捕獲頭数が増える中、ジビエの需要量の拡大が課題である。(H29年度 ニホンジカ捕獲頭数26,250頭、利用頭数3,256頭、利用率12.4%)
	<b>【目指す姿】</b> 野生鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、被害防除や捕獲等の対策と併せ、捕獲した個体を地域の有用な資源として活用を進め、民間との協働により、信州ジビエをビジネスとして定着させるための総合的な振興を図り、農山村の活性化に資する。 <b>【実施内容】</b> 信州ジビエの生産及び流通の体制整備、人材育成、普及啓発 など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H28年度	H29年度	H30年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
1	ニホンジカ食肉生産量	33.6トン	38.3トン↗	48.2トン↗	38.3トン		達成	現計予算	8,176	7,521
2								合計(A)	8,176	7,521
3								うち一般財源	2,115	2,482
4								決算額(B)	5,863	5,097
							職員数(人)	2	1	

成果指標設定理由	1 食肉の利用状況により施策の進捗が評価できるため、前年度の実績を上回るよう設定
----------	--

達成状況の分析	信州ジビエの消費拡大に向け、県内外で開催された大型イベントにおいて事業者によるジビエ製品、料理の販売が行われたほか、ジビエの安定的な市場流通に向け、飲食店に対する販路開拓活動を行うなど、積極的にジビエの需要喚起を行うとともに、全頭の放射性物質検査を実施し安全なシカ肉の流通を確保したことにより生産量が増加し、目標を達成した。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>信州ジビエの生産体制整備への支援</b> ・市町村や協議会が行う衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に係る施設整備や販路開拓等の活動を支援</li> </ul>	 <p>ワイン&amp;シドルガーデン in NAGANO</p>  <p>信州ジビエフェア</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>信州ジビエの流通体制整備のための情報収集活動</b> ・信州ジビエコーディネータ(4名)による県内外の生産者及び飲食店等からの情報収集活動の実施 ・産業労働部営業局で実施したプロモーション活動との協働</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>シカ肉の安全な流通を確保するための放射性物質検査の実施</b> ・富士見町産シカ肉の全頭調査と県内シカ肉のモニタリングによる放射性物質検査を実施</li> </ul>	

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の行き届いた質の高いジビエ生産に向けて、食品衛生法の一部改正により令和3年6月から本格施行されるHACCPに沿った衛生管理が求められている。</li> <li>・捕獲から解体加工、流通、消費に係る一連の過程における課題を総合的に解消することが必要である。</li> <li>・シカ肉の出荷制限解除による信州ジビエの安全性の向上を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部と連携によるジビエ生産を行う食品事業者に対する研修会の開催や信州ジビエコーディネータによる個別の衛生指導を実施する。</li> <li>・情報収集活動における課題や目標を共有し、営業局との連携を密にし、より効果的で効率的な情報収集を実施する。</li> <li>・これまでの放射性物質検査結果により、安全性が確認されてきていることから、出荷制限解除に向けて関係機関と協議を行う。</li> </ul>

事業番号	10 05 02	細事業一覧（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州ジビエ総合振興対策事業		部局	林務部	課・室	鳥獣対策・ジビエ振興室

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	信州ジビエ総合振興対策事業		9,863 千円	5,097 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	信州ジビエ生産体制整備	交付金	捕獲・搬送・解体加工まで良質なジビエ生産に必要な施設整備と販路開拓等の必要経費を支援（3事業体に対し2,375千円を助成）	
2	信州ジビエ流通体制整備	直接	信州ジビエの需要増加や安定的な市場流通に向けて、ジビエ流通・消費の専門家4名により県内外の生産者及び飲食店等の情報収集活動を実施	
3	信州ジビエ活用促進	直接	安全なジビエを提供するための放射性物質検査を実施 全頭検査（富士見町産シカ肉）477件 モニタリング検査 48件 計525件	